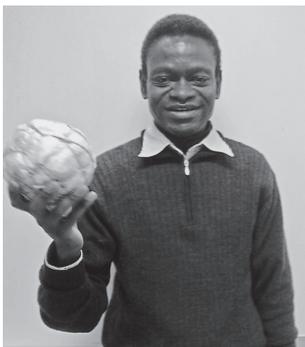




『日本とウガンダの
中学校教育について』

カルレ・デオグラシアス



芦原中学校でALTをして
いるカルレ・デオグラシアス
です。アフリカのウガンダか
ら長野県へ来ました。来日し
て十三年。県内でいろいろな
仕事をしながら英会話学校で
英語を教えています。御縁
があつて小諸市のALTにな
り三年目です。ウガンダと日
本の中学生の違いや日頃感じ
ていること、家族のことをお
話します。

勉強します。ゲーム機を買え
ない家庭が多く、子ども達は
自分で作ったおもちゃで遊び
ます。例えばバナナの木の皮
でボールを作ってサッカーを
したり、バナナの木を切つて
車を作つて遊んだり、自分で
何とかする力が付いています。
一方、日本の学校は、勉強
しなくても進級できます。学
校の制度が何か違うと思いま
す。学校へ行きたくない生徒
がいたり、家でゲームやライ
ンを自由にできたり、物があ
り過ぎて真剣に学習しない生
徒がいて、せっかく通学でき
るのもつたいないと思いま
す。そして自分のことを考え
られない中学生が増えている
気がします。学校へ行きたく
ない子に親が「何のために学
ぶのか」を家庭で教えてほし
いです。子どもと話し合うこ
とが大切です。親がいなくな
つたら子どもはどうなるのか
子どもの将来を考えて親は子
どもとしっかりと向き合つて
ほしいです。中学時代に人間

関係でうまくいかなくて不登
校気味になる子は、向き合う
べき時に向き合わないと、高
校・大学・社会に出ても人間
関係はうまくいかないかもし
れません。

がんばっている中学生もた
くさんいます。まじめに勉強
している中学生達には、伸び
るチャンスをもっと与えたい
と思つています。

家族は、翻訳の仕事をして
いる上田出身の妻と四才の息
子がいます。大きくなつたら
カメラマンになりたい息子に
は、人間関係で困らないよう
にコミュニケーションのでき
るしっかりと人になつてほ
しいです。

編集委員 前田 和子



俳句

てまり句会

● 盆栽の苔のみどり大旦

大池 知恵

● 木偶なべて弥生貌なる寒さかな

野中 威

● 杜甫思へば冬の山河の立ち上がる

荒井 民子

● 星々は神の眼光去年今年

石田 経治

● 枕木は等間隔よ初列車

滝澤 清

● 明日葬るひとと雪夜をふたりきり

国見 敏子

短歌

短歌新潮こもろ会

● カーテンを引くがに動く雲速し

萩原 さち子

● 噴水の眠りに入りたる冬の湖に

柿沢 仁子

● 風紋は雪にかかれし自然の絵

饗場 陽子

● 一瞬ふぶきてかき消されゆく

高橋 敬三

● 孫子等とホテルで過ごす総勢七人

高橋 敬三

● 窓越しの明き満月眺めつつ

土屋 ちづ子

● 冷えしワインに至福の刻を

田中 恵子